

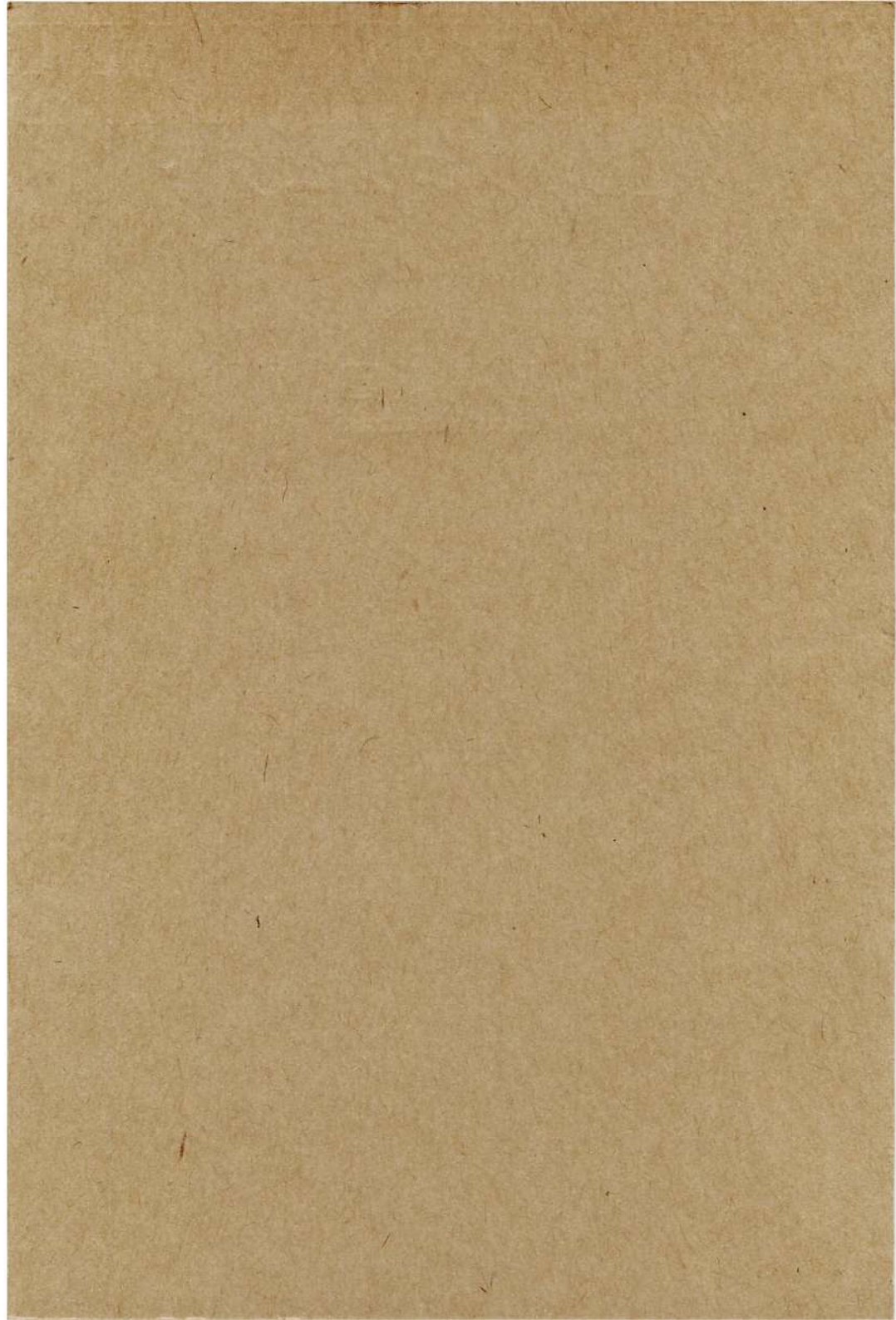
PROJECT OF LIFE

人生のプロジェクト



山崎 拓巳

Takumi Yamazaki





Takumi Yamazaki
PROJECT OF LIFE

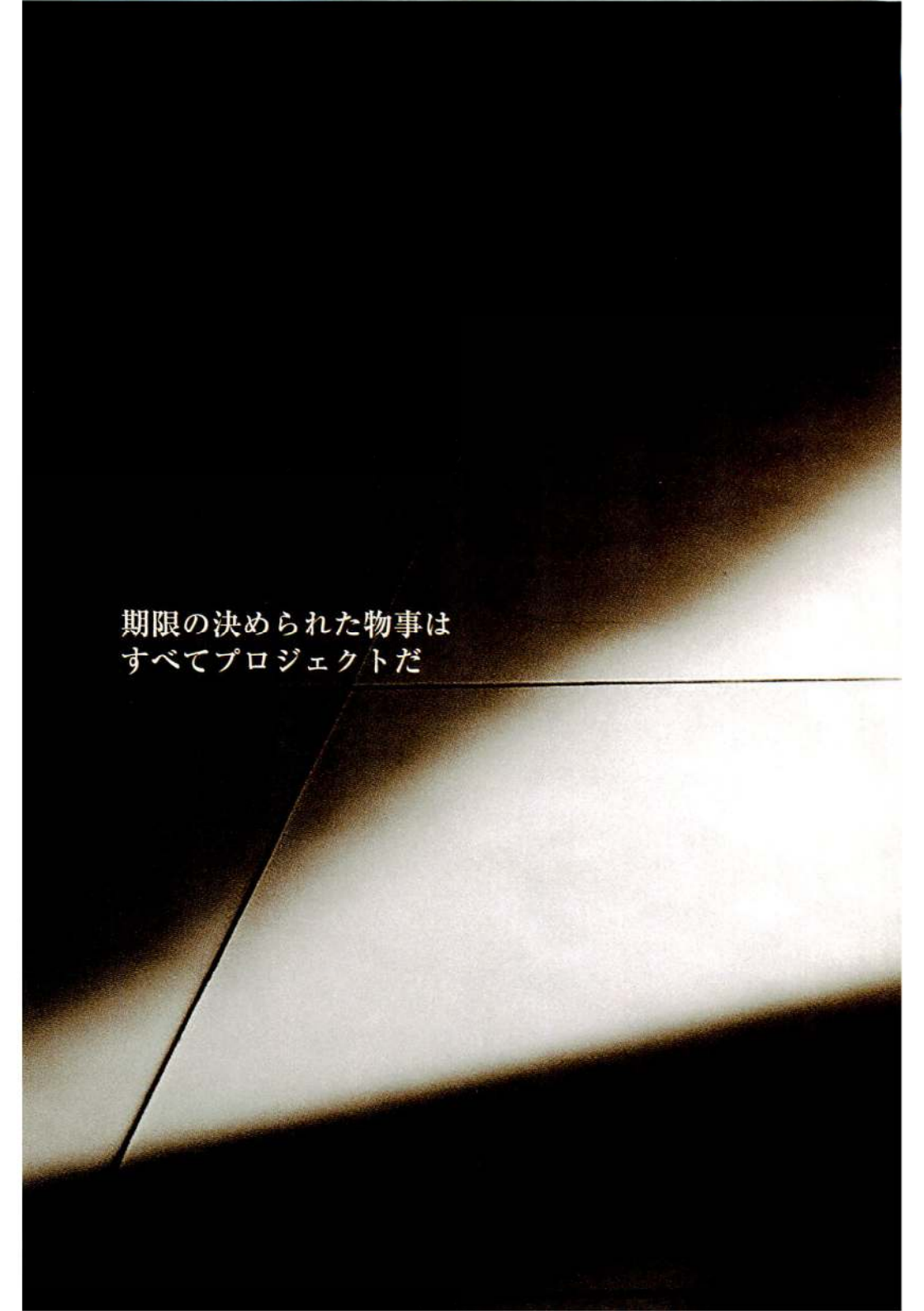
SANCTUARYBOOKS



人生のプロジェクト

山崎 拓巳

Takumi Yamazaki



期限の決められた物事は
すべてプロジェクトだ





二人の男がレンガを積んでいた。

「君たちはなにをしているんだ？」とたずねると、
一人は「レンガを積んでいるんだ」と答えた。
もう一人は「教会を造っているんだ」と答えた。

そして二人の未来は、まったく違うものになった。



Prologue



人が働くのには目的がある。



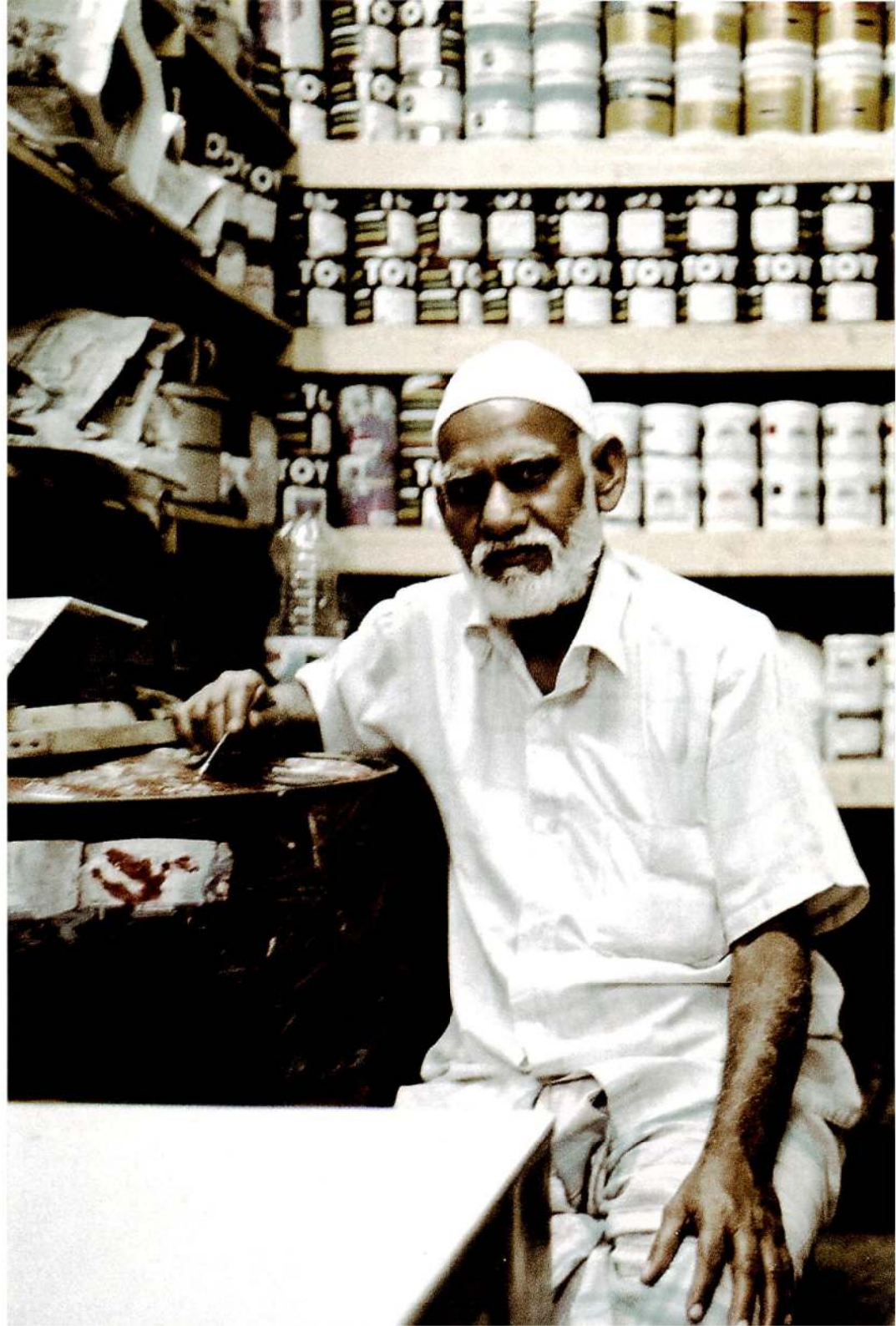
自分がただ食べていくためか。




愛する家族を養うためか。



出世や名誉、
より贅沢な生活を手に入れるためか。

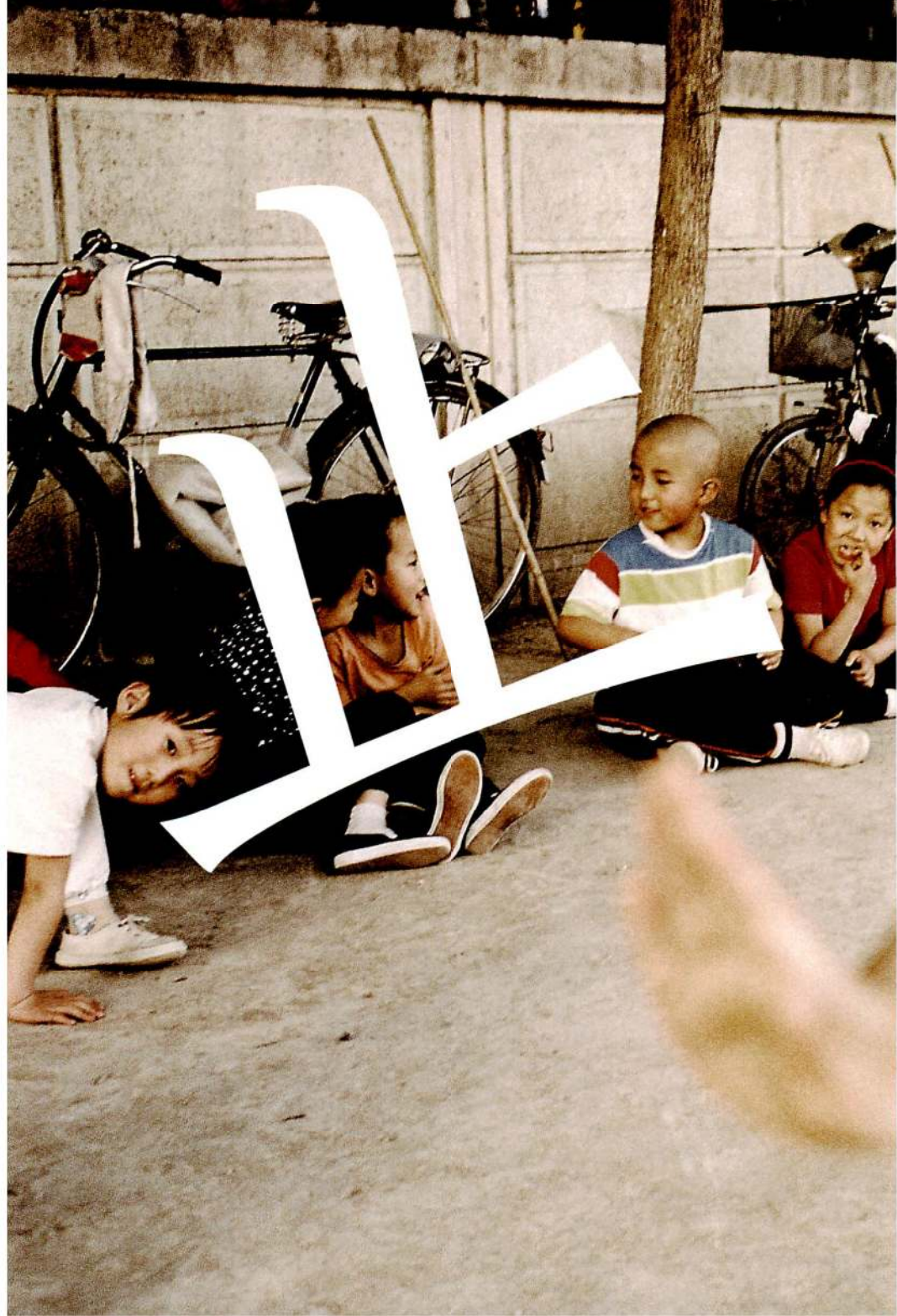




「自分は必要な人間だ」と世間に認めさせるためか。



それとも働くこと自体、
楽しいと思っているからか。





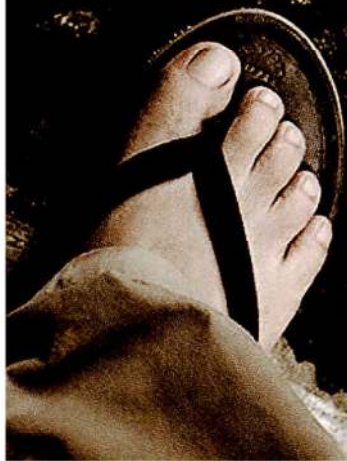


時間を止めて、自分の心と






ゆっくり会話してみしてほしい。





A photograph of a person walking through a field of tall, golden-brown grass. The person is seen from the side, wearing a dark top and shorts. The background is slightly blurred, showing more of the field and some trees in the distance. The overall scene is bright and natural.

目の前のことばかりに気を取られていると、
いつの間にか「虫の目」になる。
虫には木しか見えないが、
鳥には森が見えている。
「鳥の目」を使って
いちど空から自分の姿を確認してみよう。